

平成22年度10回沖縄県がん診療連携協議会がん登録部会議事要旨
(平成22年度西本班祖父江班(CS研究、QI研究)事前打ち合わせ議事要旨)

日時 : 平成23年3月6日(日) 16:00~19:00

場所 : 琉球大学医学部附属病院がんセンター

出席者 : 10名

西本寛(国立がん研究センター)、江森佳子(国立がん研究センター)、東尚弘(東京大学大学院公衆衛生)、仲村文明(京都大学大学院医療疫学)、比嘉初枝(県立中部病院)、平安政子(那覇市立病院)、喜友名正也(中部徳洲会病院病理部)、安里邦子(中部徳洲会病院)、仲本奈々(琉大病院がんセンター)、増田昌人(琉大病院がんセンター)

欠席者 : 照屋勝(北部地区医師会病院)

[協議]

1. 「医療機関におけるがん診療の質を評価する指標の開発とその計測システムの確立に関する研究」班(主任研究員祖父江友孝)のQI研究への協力について
平成23年5月から、琉球大学医学部附属病院、那覇市立病院、沖縄県立中部病院、中部徳洲会病院の4施設でQI短縮版の実測を開始予定との報告があった。沖縄では、胃癌と大腸癌を対象とすることになった。対象症例の作成は、2007年院内がん登録データより行うが、拠点病院でない中部徳洲会病院については、拠点病院と同様に2007年院内がん登録データを国立がん研究センターに提出し、そのデータから対象症例を抽出することとなった。QI実測に使用するPCは研究班から各施設に送付されることになった。データの提出については、ネットワーク経由で直接サーバに登録できる方法をテストし、不可能だった場合はCDROM等での提出を検討する。
1. 「院内がん登録の標準化および普及に関する研究」班(主任研究員西本寛)のCollaborative staging 研究への協力について
Collaborative staging 研究は、QI研究と時期をずらして開始することになった。各施設で研究協力の手続きを進めるため、早い時期に研究計画書とCollaborative staging の翻訳を作成する必要があるとの意見があった。両研究を開始するにあたって、平成23年5月~6月に沖縄で研修会を開催するよう予定との報告があった。
2. その他
今回は平成23年3月7日(月)に開催することとなった。外部講師をお呼びして「平成23年度がん登録部会事業計画再構築作業」を行うことが報告された。